

## 1,000万年前、 「にぎやかな浅い海」へしおつぼ（塩坪層）



図9 しおつぼ塩坪地区の川原に広がる塩坪層（撮影 第1回化石まつり実行委員会）

うるしくぼそう漆窪層の上には、しおつぼそう塩坪層が重なっています。この地層は主として砂岩からなり、あいだにでいかん泥岩やれき岩、ぎょうかいがん凝灰岩などをはさんでいます。

塩坪層は、クジラやサメ、貝などの化石を大量にふくんでいるのが特徴です。世界に1種類しかない「アイツタカサトカイギュウ」もこの塩坪層から発見されました。生き物であふれる、にぎやかな海の中を想像してみましょう。



図10 川原から発見されたホタテ貝のなかまの化石  
（点線部分）

Q3 アイツタカサトカイギュウのもんだいだよ！

- ①へそがある？ ない？
- ②歯がある？ ない？
- ③子孫しごんが今も生きている？ せつめつ絶滅した？